

# ふくい街角景気速報

(令和6年10月分)

調査期間 令和6年10月21日～28日 (回答率: 90%)

## 概況

景気の現状判断DIは50.8となり、前月と比べ2.2ポイント上昇した。

景気の先行き判断DIは50.6となり、前月と比べ1.8ポイント低下した。

### ■景気の現状判断DI 50.8 (前月比 +2.2)

- 家計動向関連では、前月に比べ 3.7 ポイント上昇した。
- 企業動向関連では、前月に比べ 0.7 ポイント上昇した。
- 雇用関連では、前月と同水準であった。

(意見の主な内容)

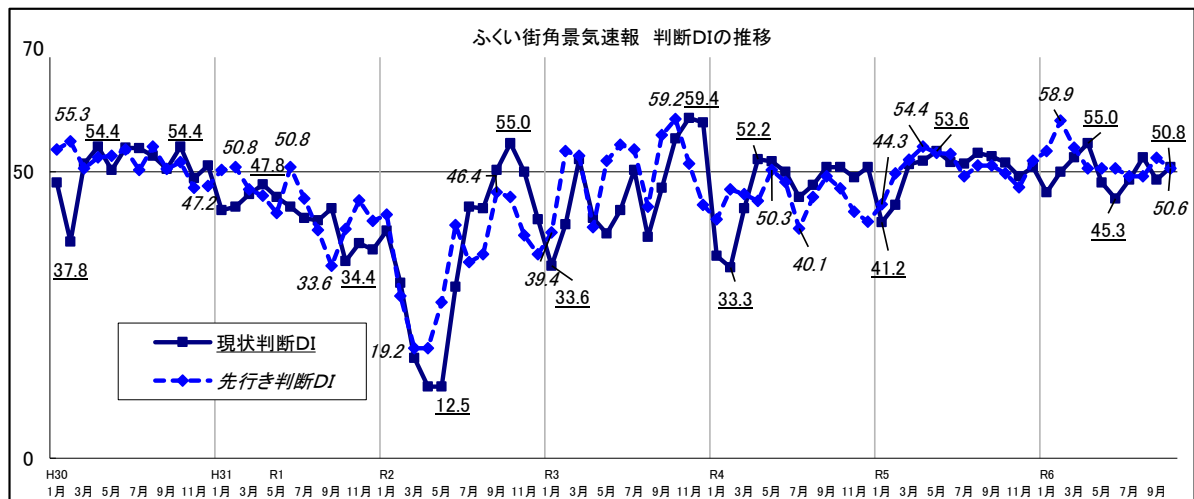
- 北陸デスティネーションキャンペーンによる県外客の増加が見える。(観光関係)
- 引き続き対面型サービスを中心に回復の動きがみられる。一方で原材料価格は高止まりが続き、小売業等は販売価格に転嫁できていない状況。(銀行等金融関連)

### ■景気の先行き判断DI 50.6 (前月比 ▲1.8)

- 家計動向関連では、前月に比べ 3.6 ポイント低下した。
- 企業動向関連では、前月に比べ 0.8 ポイント低下した。
- 雇用関連では、前月に比べ 2.1 ポイント上昇した。

(意見の主な内容)

- 秋のイベントがあちこちで開催されているため需要が見込める。歳末売出しも開催するため期待する。(商店街)
- 各産業の設備投資動向は改善していないため、年内は現状のまま。(一般機械関連)



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

## 調査の概要

### 1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

### 2. 調査の実施概要

#### (1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	11	7	3	1
奥越	大野市、勝山市	8	6	2	0
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	13	2	9	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	11	5	4
計		100	52	36	12

#### (2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

#### (3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

### 3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

### 4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ←                      50                      →                      100  
 悪くなっている                      変わらない                      良くなっている

## 1. 景気の現状判断DI

### ○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	R6 5	6	7	8	9	10	(前月差)
合計		<b>48.1</b>	<b>45.3</b>	<b>48.6</b>	<b>52.5</b>	<b>48.6</b>	<b>50.8</b>	+2.2
家計動向関連		45.3	41.8	41.3	52.3	46.9	50.6	+3.7
小売		42.7	42.7	37.1	47.2	46.8	47.3	+0.5
飲食		50.0	35.0	50.0	60.0	41.7	55.0	+13.3
サービス		50.0	42.5	47.9	60.4	50.0	56.8	+6.8
企業動向関連		49.2	45.5	53.9	52.9	50.8	51.5	+0.7
製造業		48.8	45.8	50.0	51.0	51.1	51.0	▲0.1
非製造業		50.0	44.4	62.5	57.5	50.0	52.8	+2.8
雇用関連		56.3	59.1	62.5	52.1	50.0	50.0	+0.0

### ○回答別構成比

	年 月	R6 5	6	7	8	9	10	(前月差)
良くなっている		3.3%	2.2%	3.3%	3.3%	3.3%	4.4%	+1.1
やや良くなっている		20.0%	17.8%	17.8%	23.3%	14.1%	17.8%	+3.7
変わらない		46.7%	44.4%	51.1%	53.3%	58.7%	54.4%	▲4.3
やや悪くなっている		25.6%	30.0%	25.6%	20.0%	21.7%	23.3%	+1.6
悪くなっている		4.4%	5.6%	2.2%	0.0%	2.2%	0.0%	▲2.2

## 2. 景気の先行き判断DI

### ○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	R6 5	6	7	8	9	10	(前月差)
合計		<b>50.6</b>	<b>50.6</b>	<b>49.2</b>	<b>49.2</b>	<b>52.4</b>	<b>50.6</b>	▲1.8
家計動向関連		49.5	51.1	46.7	47.2	54.2	50.6	▲3.6
小売		46.8	49.2	42.2	46.3	53.2	50.0	▲3.2
飲食		45.0	65.0	65.0	40.0	41.7	55.0	+13.3
サービス		58.3	50.0	50.0	52.1	63.6	50.0	▲13.6
企業動向関連		50.0	46.2	50.8	50.7	50.8	50.0	▲0.8
製造業		48.8	42.7	48.9	50.0	50.0	50.0	+0.0
非製造業		52.8	55.6	55.0	52.5	52.8	50.0	▲2.8
雇用関連		56.3	61.4	54.2	52.1	50.0	52.1	+2.1

### ○回答別構成比

	年 月	R6 5	6	7	8	9	10	(前月差)
良くなる		2.2%	3.3%	2.2%	1.1%	3.3%	4.4%	+1.1
やや良くなる		21.1%	24.4%	22.2%	20.0%	23.9%	17.8%	▲6.1
変わらない		56.7%	47.8%	50.0%	54.4%	54.3%	54.4%	+0.1
やや悪くなる		16.7%	20.0%	21.1%	23.3%	16.3%	22.2%	+5.9
悪くなる		3.3%	4.4%	4.4%	1.1%	2.2%	1.1%	▲1.1

### 3. 判断理由

#### (1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなっている	家計動向	嶺南	商店街	各地で秋の祭り、イベントが再開されてきたため、人出が増えつつあり、需要が増えてきているように感じる。
②やや良くなっている	家計動向	嶺南	商店街	北陸新幹線開業の影響は少なからず続いているものと感じる。
		福井	百貨店、SC等	猛暑が続き季節性商品が厳しかったが、ようやく気候も落ち着いて需要が伸びてくることを期待。
		坂井	観光関係	北陸デスティネーションキャンペーンによる県外客の増加がみえる。
	企業動向	丹南	電気機械関連	3ヶ月前に比べると受注・売上共にやや増加しているため。
		丹南	建設・不動産関連	受注、売上高が増加傾向にある。
③変わらない	家計動向	嶺南	百貨店、SC等	自店周辺のマーケットの拡大要素が、物価上昇以外見当たらない。
		坂井	スーパー	売上、客数の傾向が変わっていない。
		福井	コンビニエンスストア	消費心理が節約志向で固定化されている。客単価が前年割れ基調
		奥越	飲食関連	紅葉のシーズンでまだ観光客が来ているため。
		坂井	観光関係	新幹線開業以来、宿泊客は大きな増減が無い。
	企業動向	坂井	繊維関連	国内外ともに低調な状況が続いている。仕入れ等の値上げも続いている。
		奥越	繊維関連	高付加価値品の商品が伸び悩み。低価格のボリュームゾーンの商品が決まりやすい傾向が変わらない。
		福井	一般機械関連	国内の商談・受注は停滞したまま。
		丹南	電気機械関連	大きな変動要因がなかった。
		福井	化学・プラスチック関連	販売量、在庫量の動きに特に変動が感じられない。
		嶺南	商社	物価高騰に個人消費が追い付かない。
		福井	銀行等金融関連	引き続き対面型サービスを中心に回復の動きがみられる。一方で原材料価格は高止まりが続き、小売業等は販売価格に転嫁できていない状況。
	雇用	丹南	自治体労働政策担当課	これまでのプロモーションのほか、JRデスティネーションキャンペーン効果もあり、市内主要施設の客数が増えるなど、引き続き市内の観光産業中心に活性化している。
		嶺南	労働相談員	現在の労働相談の内容からは、景気が動いているとは判断しにくい。
		嶺南	学校就職担当者	学生の求人はまだまだ多く、どの業界も中小企業は充足していない。
④やや悪くなっている	家計動向	福井	一般小売店	来店数が減少している。
		嶺南	一般小売店	食品等の物価高騰で、他のものへの支出を抑えているように思える。
		福井	百貨店、SC等	生活必需品は購入も、余分なものは購入しない傾向。物産催事などで、1~2年前は需要の高かった高額弁当等の動きが鈍い。
		坂井	観光物産関係	3連休が予想より商品の動きが良くなかった。
		福井	観光関係	7,8月のトップシーズンから比べると落としているが、秋の行楽シーズンとなり交流人口も増えているように思う。飲食店舗も9月から比べると上向きとなっている。
	企業動向	嶺南	その他製造関連	毎年、繁忙期に入る時期だが今年度は嶺南地区の公共工事が少ない。

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由	
①良くなっている	家計 動向	嶺南	商店街	秋のイベントがあちこちで開催されているため需要が見込める。歳末売出しも開催するため期待する。	
②やや良くなっている	家計 動向	奥越	百貨店、SC等	空きエリアが減って、新店舗入って活気が出ることを期待している。	
		坂井	観光物産関係	年末年始になるため、商品の動きが良くなると期待をしている。	
		坂井	観光関係	10月から年末までの誘客キャンペーンと、11月に越前漁が蟹解禁となるため。	
		坂井	観光関係	北陸デスティネーションキャンペーンの効果次第	
	企業 動向	福井	銀行等金融関連	円安の影響や長引く原材料価格の高騰に加え、価格転嫁への懸念はあるが、秋・冬シーズンを迎えてさらなる新幹線効果による客数増の見込みに期待する。	
③変わらない	家計 動向	福井	百貨店、SC等	衆院選で政治情勢の変化が訪れるも、急な景気の回復に兆しが出るとは思えない。	
		福井	百貨店、SC等	冬の到来が早く、雪も多い予想のため需要の停滞を懸念する。	
		福井	家電販売店	良くなる要因がない。	
		奥越	観光物産関係	11月から、たくさんの仕入れ価格が高くなってきている。	
		福井	サービス業関連	政治と為替が不安定である。	
		嶺南	観光関係	新幹線効果と言われて半年経ち、ようやく堅調な気配が見えてきている。団体から個人へという基調は変わらず、関東圏、信越圏からのお客様も堅調。	
	企業 動向	坂井	繊維関連	回復の兆候や要素が薄く、今後に関しても不透明な状況である。	
		福井	繊維関連	現在受注が1月ごろまでは安定しているため。	
		福井	一般機械関連	各産業の設備投資動向は改善していないため、年内は現状のまま。	
		丹南	電気機械関連	中国経済低迷、世界で発生している紛争の状況により先行きが不透明であるため。	
		丹南	電気機械関連	日本の衆議院選挙、アメリカ大統領選挙や、国際情勢の不安定化など、見通しが立たない事案が多く、分からないというのが正直なところ。	
		福井	化学・プラスチック 関連	大きな変動要因が見当たらない。	
	雇用	丹南	労働相談員	依然として、高い水準で労働相談の件数が続いている。	
		嶺南	労働相談員	現在の労働相談の内容から、今後の景気判断は難しく、変化しないと言わざるを得ない。	
		福井	学校就職担当者	民間の二次募集の求人活動が例年通りに実施されているため、今後も大きな変化はないと感じている。	
	④やや悪くなっている	家計 動向	福井	百貨店、SC等	物価高影響により、高額商品への買い控えの影響がある。高温影響で冬物寝具関連の動きが鈍く、今後冬にかけての影響が懸念される。
			坂井	スーパー	引き続き、物価高(値上げ)、電気料金値上げの報道もあり節約志向が高まると思われる。
			嶺南	飲食関連	このまま値上げは続く一方、収入が変わらない状況にあるため。
福井			観光関係	冬の閑散期に入るため交流人口は減ってくると思われる。気候にも左右されるが、新年会などの需要は見込みが出てきたため大幅な減少とはならないとみている。	
企業 動向		奥越	繊維関連	今回の衆議院選挙で野党が勢力を伸ばした影響が出ると思われる。	
		福井	商社	燃料への政府からの補助金が減して、冬期の灯油価格の高騰が予想される。	

#### 4. 参 考

##### (1) 調査対象の構成

調査対象		人数
<b>家計動向関連</b>		52
<b>商店街、小売店</b>		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
<b>百貨店、SC等</b>		
	店長・売場主任	10
<b>スーパー</b>		
	店長・従業員	5
<b>家電販売店</b>		
	経営者・店長・従業員	2
<b>コンビニエンスストア</b>		
	店長・従業員	2
<b>観光物産関係</b>		
	売場責任者	3
<b>飲食関連</b>		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	4
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
<b>その他サービス関連</b>		
	サービス業経営者・従業員	4
<b>観光関係</b>		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
<b>企業動向関連</b>		36
<b>製造業経営者・従業員</b>		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
<b>非製造業経営者・従業員</b>		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
<b>雇用関連</b>		12
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	3
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

## 4. 参 考

### (2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および役職等)

(記入者氏名)

---

---

#### 【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。  
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。  
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている    ②やや良くなっている    ③変わらない  
④やや悪くなっている    ⑤悪くなっている

#### 【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

#### 【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。  
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる    ②やや良くなる    ③変わらない    ④やや悪くなる    ⑤悪くなる

#### 【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県 産業労働部 政策推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)